令和元年９月２０日

外国人を含む旅客への事故・災害時対応

宮島フェリー航路で事故対応訓練を実施します

訪日外国人旅行客（インバウンド旅行客）が年々増加しているところですが、日本語に不慣れな外国人観光客が旅行中に事故・災害に巻き込まれた場合にも身の安全を確保することが極めて重要です。ここ広島地域においても、世界遺産である宮島の外国人観光客は年々増加し、その多くはフェリーを利用して渡島されています。

このため、中国運輸局及び第六管区海上保安本部は、宮島松大汽船(株)や(有)宮島遊覧観光、廿日市市消防本部の協力の下、宮島フェリー航路において、外国人観光客を含む事故対応訓練を以下のとおり実施します。

１．実施日時

令和元年９月３０日（月）１３：３０～１５：２０

２．実施場所

広島県廿日市市宮島口車両輸送桟橋及び
同桟橋周辺海域（概略図参照）

宮島松大汽船株式会社　フェリー「安芸」船上

３．実施機関

主催：中国運輸局、第六管区海上保安本部
協力：宮島松大汽船株式会社、有限会社宮島遊覧観光、廿日市市消防本部

４．訓練概要

宮島への航行中、フェリーで車両火災が発生し、航行不能に陥った想定で、フェリー乗員による消火活動及び外国人を含む乗客に対しての避難誘導・救助活動等を行います。

火災発生（想定）後、以下の順に訓練を実施します。

①情報伝達訓練
- フェリー乗員から会社への事故情報の速報
- 旅客船事業者から救助機関等、関係機関へ情報伝達

②船員による初動対応訓練
- フェリー乗員による初期消火、旅客の避難誘導

③救助機関による火災消火訓練
- 消防艇「もみじ」、巡視艇「あきかぜ」による放水・消火活動

④救助機関による負傷者搬送訓練
- 巡視艇「あきかぜ」による負傷者の搬送
- フェリー乗員等による旅客の誘導、汽船「もみじ」への移乗及び桟橋までの搬送
- 陸上搬送先での規制線設定、搬送された旅客の人定

５．取材について

このプレスリリースは、第六管区海上保安本部と同時に発表しています。

フェリー「安芸」内にて取材可能な場所を用意します。また、桟橋付近での取材も可能です。

※取材を希望される場合は、必ず事前に中国運輸局の以下の担当【お問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

６．その他

本訓練の外国人乗客の派遣には、グランドプリンスホテル広島、シェラトングランドホテル、ホテルグランヴィア広島、リーガロイヤルホテル広島にご協力いただいております。

また、宮島松大汽船(株)の参加にあたっては（一社）中国旅客船協会のご協力をいただいております。

【訓練場所概略図】

C to Sea　プロジェクト

海や船が「楽しく身近な存在」になるための取り組み。

ポータルサイト「海ココ」

【お問い合わせ先】

中国運輸局　海上安全環境部　運航労務監理官

担当者　徳永（とくなが）・大野（おおの）

ＴＥＬ　０８２－２２８－８７０８

ＦＡＸ　０８２－２２８－３４６８